自助グループを形成し地域福祉を共に考える事業

サポぬま

NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡の沼津を中心としたボランティアサポーターのグループ。就労を中心とした「静岡方式」による「誰もが働ける」地域づくりを行っている

課　題

①　就労の難しさは、本人の意思だけではなく、家族が抱える問題により就労に結びつかないケースがある。家族は誰にも問題について話すことが出来ずに悩み、共依存に陥り、精神のバランスを崩すことも多い。

②　地域課題として、高齢者・単身・母子世帯、外国籍などの要因による生活困窮などが多くトラブルも。

目　的

①　人々が抱える様々な問題の解決の糸口を見つけるために、自分の経験を他者とわかちあいながら、自助グループを作る。カウンセラーや医療に頼らずに問題を抱えるもの同士で話し合うことで自分らしい生活を取り戻し回復するさせる。

②　専門家から自助共助について学ぶと共に、地域福祉コミュニティのあり方を地域住民と共に学びあい、課題の多い地区において、地域住民が何を問題として抱えているのか背景を探り、地域資源を最大限に活用して地域福祉の向上を図る。

事業内容

① 自助グループのワークショップ

1 月、3 月
「ニートひきこもりの子どもを抱える家族」「発達障害、個性の強い子を抱える家族」を対象としたピアサポート（茶話会）を開催

ピアサポート（茶話会）の手法を構築し、同じ困りごとや悩みを持つものが、新しい場をつくり、活動を広げている。また地域を超え、他団体との繋がりも増えている

発達障害、個性の強い子を抱える家族 / 当事者

第 3 火曜日　10 時 ~12 時　大心産業内サポぬま原基地
又はサンウェルぬまづ

第 3 土曜日　14 時 ~16 時　三島市成真寺

ニートひきこもりの子どもを抱える家族

最終日曜日　15 時 ~17 時　カフェ & ギャラリー　フラン

LGBT 多様な性のしゃべり場

不定期開催　場所非公開

② 講演会開催

藤井先生から先進事例を学んで地域のつながりを広げよう！

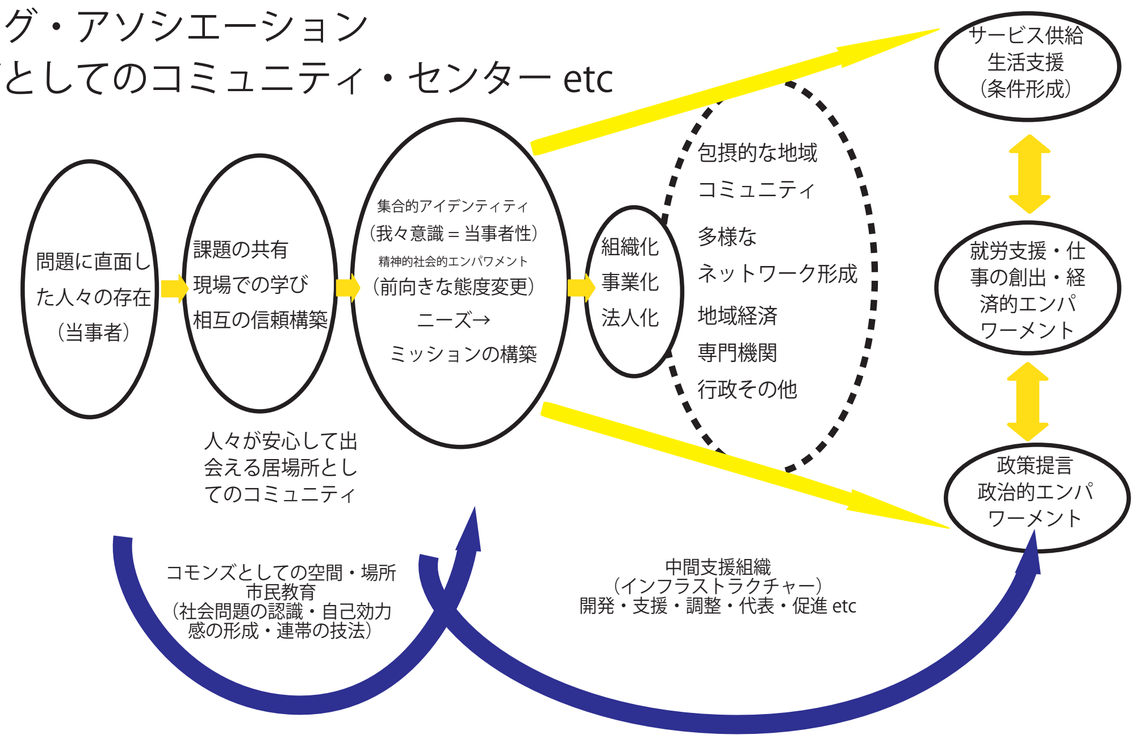
立教大学　藤井敦史教授 (福祉コミュニティ学部)

講演会

講演会後の WS

地域見学後のレクチャー

①NPO によるコミュニティ形成：コミュニティを作るとはどういうこと？
　コミュニティ開発の議論から考えられてきたこと
②阪神淡路大震災後の神戸の仮設住宅でのコミュニティ形成の事例
　信頼関係を作り出す・信頼関係があるから見えてくるもの
　多様な職能や技能を現場を起点に結びつける＜市民的専門性＞
③英国イースト・ロンドンにおけるコミュニティ開発から学べるもの
　ハウジング・アソシエーション
　コモンズとしてのコミュニティ・センター etc

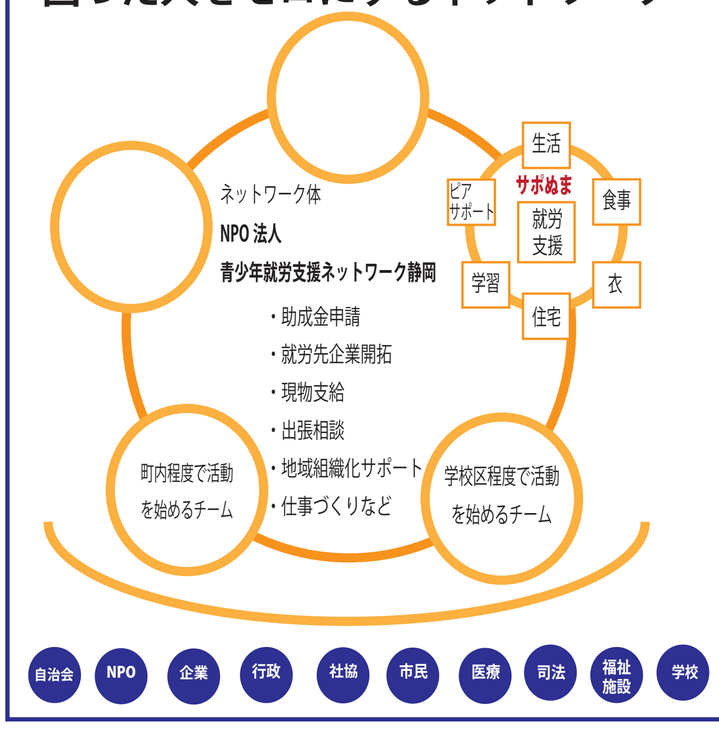


（cf.）『新・コミュニティ福祉学入門』第 24 章拙稿「NPO とコミュニティ・エンパワーメント」

①ボランタリー・コミュニティ➡自発的参加が基盤
②当事者を軸としたコミュニティ
③当事者と社会をつなぐ―包摂的な地域コミュニティ

私たちの提案　当事者を軸としたコミュニティ、地域のつながりをつくる

困った人をゼロにするネットワーク



課題解決のためには、住民からの声を住民主体で取りまとめ、問題解決していくことが必要。また、行政に頼るだけでなく、自ら解決を図る方法を模索することが大切である。

そのためには、いつでもどこでも誰もが安心して参加できる場が必要であり、またグループ同士のつながりが必要であると考える。

地域のつながりをつくると共に多様な組織や支援者とのつながりをつくるには中間支援組織のオーガナイズは重要である。

サポぬま活動案内　@saponuma

学習支援（にじっこ）／子ども食堂／就労支援／茶話会／・・・

ボランティア募集中♥　地域のお困りごとをみんなで考えましょう！

★第1(木)10時～　ミーティング(昼サポ)
★第2(木)19時～　ミーティング(夜サポ)

https://saponuma.wordpress.com/